



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

憲法96条改正問題がマスコミを賑わしている。「憲法改正するためには、私は国会議員になった」と、ただごとじゃない意気込みを見せている議員もいる。99条には、国会議員などが、「憲法を尊重し擁護する義務を負う」と、あるのに。

朝風

菜の花、ふきのとう、たらんぼ。春はほろ苦い食べものたちが、冬にため込んだ体の老廃物を排泄してくれる。地産地消、身近で採れる季節の食べものが健康を維持する。そのあたりまえの営みがかなわない地域があるのは残念だ。

本号の紙面

- 2 3 ・なぜ政治活動？なぜあいはらくみこ？
- 4 ・小川勝也合同選对本部が発足
- ・4月1日執行体制が一部変わりました
- ・NEW「おーさかさんの徒然だより」

「給与削減」反対5千人が抗議

大型ハガキ 北海道 10万筆超え

大型ハガキ行動

4月26日まで
取り組み
ます！



5000人が参加した4.12中央集会＝4月12日、東京・日比谷野外大音楽堂

公務労協が主催した2013春闘4.12中央集会と第2次中央行動は、日比谷野外大音楽堂に、全国から5千人、北海道は139単組・総支部176人の組合員が参加し、地方交付税法等改正案の成立をはかった政府に対する抗議と予算案の修正を求めてデモ行進した。

公務員連絡会地公部会は集会の前段、2月から取り組んだ大型はがきを第1次集約分、726,226筆(うち自治労513,445筆、北海道106,651筆)を総務大臣に対して提出した。集会では、働くものの保護や雇用のセイフティ

る先行単組をつくり、他の自治体に対する波及を求め、第2次では最大の山場として交渉を強化する方針を確認した。いよいよ、4月22日から重点交渉期間に入る。各単組は、「国の要請に基づく給与削減を行わずに」とする回答を、自治体当局から引き出すよう交渉を強めていこう。

お知らせ...
5月7日(火)15時～
自治労会館
シンポジウム
「これからの日本の行方」
ゲスト・佐藤優さん山口二郎さんほか、司会・峰崎直樹学監
★くわしくは、道本部HPで!

言いなり?それともたたかろう?

4.13北海道団体総決起集会

中央行動に引き続き、4月13日、東京グリーンパレスで北海道参加団の総決起集会を開いた。

道本部・山上委員長は、「われわれの思いを当局に訴え、賃金削減反対のたたかいを作り上げよう」と結果を呼びかけた。

えんぎ参議は、国会報告で、「言いなりになるのか?たたかろうのか?一人ひとりのエネルギーが試される」と述べ、「一内閣の閣議決定で単位費用を決めることはあり得ない。こんなことがまかり通ればいくらでも賃金を

下げられる」と政府の方針や決定の手続きを批判した。藤盛副委員長は、道本部方針とともに、ストライキ戦術配置の意義を総括的に提起し、全組合員が結集するための体制づくりを呼びかけた。



集会に参加した176人の北海道参加者＝4月13日、東京

自治労道本部結成50周年・歴代委員長リレーエッセー 7

高柳 薫 さん (63歳 第11代委員長)

自治労は社会的役割の中核に

私は、2006年9月第47回定期大会で執行委員長に就任しましたが、翌年、連合北海道会長に選任いただいたため、自治労北海道の50年の歴史のなかで、委員長としては唯一、わずか1年の在任期間でした。1年足らずの期間でしたが、振り返ると、「夕張」ぬきに語ることができません。夕張の状況は、自治労の組織・運動すべきことの厳しい側面の象徴だったと思います。

自治体財政の破綻は中央集権と地方自治の崩壊、労使自治の否定、希望退職という大量首切り、行政機構の機能不全... さて、連合北海道の活動について、私は、①社会的影響力のある労働運動の地域政策・地域課題の取り組みを念頭に進めてきました。



高柳さんは、2006年～2007年まで委員長を務めた

地域課題は、ほとんどが自治体・自治労課題です。労働運動の社会的影響力は、労働組合の社会的役割や存在感、労働者の地位向上にといった思いで取り組んできました。自治労は、その中核です。

地公の給与削減反対!

大型ハガキ行動

第2次集約 4月26日まで

※ 4月17日現在道本部集約

191 106,712 筆
単組



総務省・三輪公務部長(左)に公務労協集約72万筆の大型ハガキを渡す公務員連絡会・岡本企画調整委員＝4月12日

第1次自治労集約分

513,445 筆

届け地方の声!
72万筆
総務大臣に

JICHIRO スケジュール

- 4月
 - 23日(火) 第18回執行委員会(札幌市)
 - 26日(金) 地方財政確立!自治労全国統一行動日
- 5月
 - 1日(水) 第84回全道メーデー
 - 2日(木) 憲法を私たちの手に!憲法施行66周年北海道集会(札幌市)
 - 自治労青年女性憲法フォーラム(東京)
 - 7日(火) 第19回執行委員会(札幌市)
 - 9日(木) 自治労第3回労働条件担当者会議(東京)
 - 自治労第47回清掃集会(仙台市)
 - 自治労社会保障セミナー(東京)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

特集 政治に『無関心』でも『無関係』ではられない！なぜ政治活動？なぜ「あいはらくみこ」？

今の政治でいいのか！

現在の政府は地方交付税を削減し、地方を切り捨てようとしています。組合員の皆さん思い出し、過去に「地方切り捨て」「賃金・一時金の独自削減」「職不補充・新規採用者抑制による人員不足」で、職員一人ひとりの業務量が増加し、十分な公共サービス、本当に住民に必要なサービスをすることができず、地方が切り捨てられていったのと同じように、自治体でも、自治体で働く私たちが政治は、賃金の労働条件はもちろんです、仕事や生活のすべてが密接につながっています。『無関心』で

参院選まであと3ヵ月 今やらなくていつ頑張る

◆自治体への「暴挙」許すな！ 私たちの置かれている状況は、地方公務員に対する給与削減の強要と地方交付税削減など、かつて経験したことがないほど深刻な問題を抱えています。現政権は自治体から財布を取り上げるばかりか、言うことを聞かないとお金を渡さない。このような自治体に対する暴挙を、絶対許すことはできません。

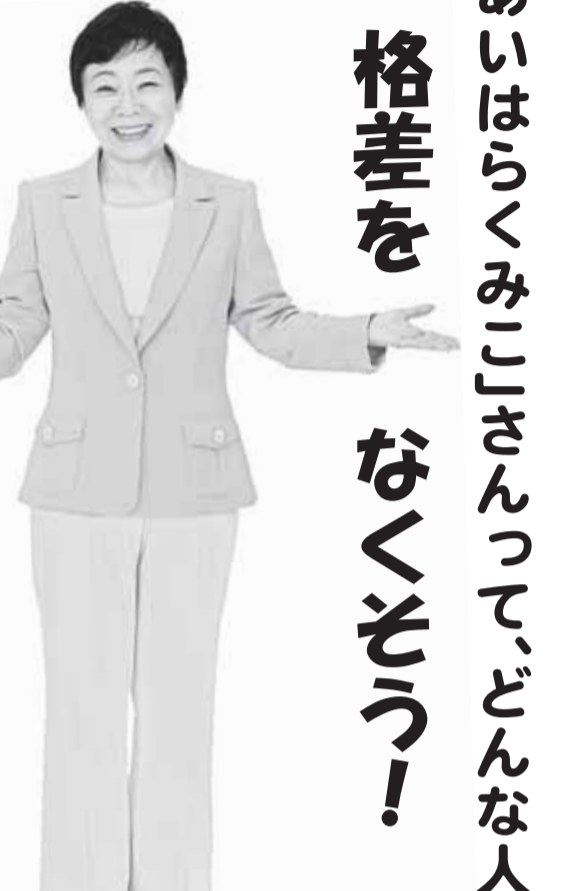
◆理不尽な規制緩和と拡大 大幅な規制緩和を推し進める安倍政権は、旧小泉政権と同様に聖域なき構造改革を行なおうとしています。旧小泉政権は大量の貧困労働者を生みだし、格差社会をつくり出しました。また、生活保護受給者を急増させた大きな社会問題になっています。さらに、安倍政権は正社員を簡単に解雇で

◆どうなる生活に関する大問題 現在の政府は、TPP交渉参加問題、原発再稼働問題など、私たちの生活に関する大問題な問題について、安倍首相は「3分の

◆再生可能なエネルギーの実現 「あいはらくみこ」さんは、再生可能なエネルギー社会の実現に向けて、「脱原発ロードマップ」の会の呼びかけ人として、活動しています。国家戦略室のエネルギー・環境会議に提出している

◆政策課題3 非正規労働者の処遇改善 「あいはらくみこ」さんの最大の政策課題は、非

「あいはらくみこ」さんって、どんな人？ 格差をなくそう！



「あいはらくみこ」さんは、1947年北海道・三笠市生まれ。1986年に札幌市の非常勤職員となり、非正規労働者の格差解消のため、自治労運動に参画。1995年には、自治労札幌市役所職員組合連合会特別執行委員となり、初の女性副委員長になりました。2003年からは、自治労本部の執行委員として活躍しました。2007年7月29日の第21回参議院議員通常選挙で参議院議員に初当選しました。自治労が求める「質の高い公共サービスの実現」「非正規労働者の処遇改善」「地方自治の確立」「脱原発」など自治労が求める政策を実現することです。「あいはらくみこ」さんの、国会での活動を3点にしぼって政策課題にご紹介します。

質の高い公共サービス

2009年3月の予算委員会、公契約に関する質問しました。公共サービスを充実させるためには、低賃金労働の温床とならないしくみづくりが必要であることを述べ、多くの賛同を得ました。あわせて、建設分野を中心とした「公契約法」の制定にむけた取り組みに参画、国土交通省との協議に取り組みました。

また、消費税増税に関する、社会保障制度の充実が必要である立場

あいはら参議に『撤布』届けた 道本部青年部



8月以降一気に政治公約を進めようとして、衆議院での一方的な役割は大変重要で、

◆組合員の力を総結集しよう!!

7月の参院選まで3ヵ月、この選挙は自治労の力が問われる大事な選挙です。

公共サービスに携わる私たちの権利が侵されようとしているなか、自治労出身の比例代表「あいはらくみこ」の発言、発信力は重要です。また、これ以上北海道への圧力を許さないためにも北海道選挙区「小川勝也」の再選が不可欠です。今頑張らなければ、私たちの明日はありません。今こそ組合員の力を総結集しましょう。

なぜ政治活動に取り組むのですか？

自治労は、政府や国会に働きかけ、より広範な国民とともに世論を形成して、相互に協力できるように、生活を支えるための保健制度や教育の充実、質の高い医療を受けるための医療供給体制や医療保険制度の確立、老後の生活を支えるための介護や年金制度が重要です。これらの社会保障や公共サービスを支えるためには、財源が欠かせません。しかし、社会保障をほめとる公共サービスを削減し、同時に、富裕層の所得税と法人税を減税して、社会的格差を拡大させる政策を志向する政党もありま

なぜ自治労の協力国会議員を国政に送り出すの？

自治労は、政府や国会に働きかけ、より広範な国民とともに世論を形成して、相互に協力できるように、生活を支えるための保健制度や教育の充実、質の高い医療を受けるための医療供給体制や医療保険制度の確立、老後の生活を支えるための介護や年金制度が重要です。これらの社会保障や公共サービスを支えるためには、財源が欠かせません。しかし、社会保障をほめとる公共サービスを削減し、同時に、富裕層の所得税と法人税を減税して、社会的格差を拡大させる政策を志向する政党もありま

ご存知ですか？ 参議院議員選挙比例代表のしくみ

候補者名で投票できます。

政党名もしくは候補者名で！

比例代表候補者

投票箱

規労働者の現状と課題について、同僚の国会議員をはじめとして、さまざまな人々に訴え続けてきました。また、2009年8月30日の政権交代以降は、与党の立場で、民主党政務部門会議のもとに置かれた「地方自治体臨時・非常勤職員問題ワーキングチーム」の事務局長に就任しました。現在は、自治体の臨時・非常勤職員に対する手当支給の問題や、パートタ

北海道選挙区 参議院議員 小川 勝也

誰もが普通に暮らせる国へ。

●1963年、上川郡和寒町の小さな鉄工所の息子として生まれ、「鍛冶屋のかっちゃん」と親しまれて育つ。●和寒小学校、和寒中学校、旭川北高校を卒業。●寡黙な亡父からは「若いうちの苦労は買ってでもしろ」「他人の飯を食え」などの人生訓を通じて、忍耐を学ぶ。●新聞奨学生として日本大学法学部へ。●大学で政治研究会に入り、卒業後衆議院議員の秘書となり、政治を学ぶ。●1995年、32歳の若さで、参議院議員に初当選。(現在3期目)●民主党政権では、内閣総理大臣補佐官で農山漁村地域活性化を担当。2011年1月に防衛副大臣として、東日本大震災の救援対策にあたる。2011年9月には参議院農林水産委員長として第1次産業を中心とした施策による「地域活性化」へ全力を投じる。●現在、参議院農林水産委員、連合北海道議員団会長。●一貫して、「環境」「農林水産業」「食」の問題に取り組む。

自治労道本部は第54回臨時大会で、小川勝也さんを推せん決定しています。

生かそう!ソーシャルメディアの力 『facebook』に登録しよう!

スマホやパソコンでアカウント登録! あいはらくみこ参議、小川勝也もfacebookで、情報発信しています!

小川 勝也

あいはらくみこ

facebookであいはら参議と小川参議の情報を知り「いいね!」して「シェア」しよう!

みんなの力で、格差や差別をなくし、地域ではたらくものを大切に政治に変えましょう。

あいはらくみこは、現場で働くみんなと「合い組み」、公正労働基準を確立して格差是正をめざします。

比例代表 参議院議員 あいはらくみこ

ともに「あいくみ」格差をなくそう。

【プロフィール】 1947年北海道生まれ。北海道大学卒業後、民間企業で勤務。86年札幌市非常勤職員。01年北海道本部副執行委員長。03年自治労中央執行委員、07年第21回参議院議員選挙全国比例区で当選。現在内閣委員、共生地域調査会

自治労道本部は第115回中央委員会で、「あいはらくみこ」さんを推せん決定しています。

小川勝也 合同選対本部が発足 道民に正しいこと伝え必ず勝つ!



「青年も先頭にたち、小川勝也の勝利を勝ち取る」と力強く
団結ガンバローをする青年委員会・瀧口委員長=4月5日

4月5日、札幌市内で小川勝也合同選対本部事務局が開かれた。合同選対本部長代行・徳永エリ参議は、「政権が代わり、こんなにも政策の方向性が変わるのかと実感している。このまま自民党に任せるわけにはいかない、小川勝也さんの勝利にむけてともに頑張ろう」と呼びかけた。小川勝也参議は「平和を守り続けてきた憲法を守り、誰もが安心して暮らせる社会実現のために参議選は最後の砦。道民に正しいことを伝え、必ず勝利させてほしい」と力強く決意を述べた。連合北海道・工藤会長は、「現政権が過半数になったら何でもやられてしまう。小川勝也参議と比例9人の必勝にむけてたたかう」とあいさつした。

安く・速く・多量にできる?

【胆振地本発】3月16日に開かれた胆振地区医療定期総会で、POST IVEプログラム」の講演がありました。これは、職場の安全衛生を改善するプログラムで、労働者を労働災害からまもることを目的としています。今回は、病院食として卵を使った体験

をしました。卵をお椀の上にのせる、卵パックに入れて運ぶ、それぞれを体験し、労働が格段に速く安全になっていることを理解することができました。しかし、安く・速く・多量に生産・処理を求められつつある社会の中では、改善もいたごっこになるかも知れませ



職場だより

労働は、私たち自身のためになるものを創造する営みですが、安く・速く・多量に生産・処理を求められつつある社会の現状、それを改善するための取り組みも重要と感じます。また、TPPが医療も破壊し得ることに着目して、十勝医療の仲間が反

対を呼びかけたことで重要性を認識しました。交流会では、職場の問題について多くの方々を頂くこともでき、有意義な総会になりました。(胆振地本発部衛生医療評議会・小林美奈II 室蘭病棟)

講演する小川芳明
・北海道医療事務局長(洞爺協会病院労組)と参加者=3月16日

チャレンジ! チルドレン・ファースト⑩

「すべての」子どものために 政策検討なかみ議論!

子ども・子育て支援法は基本理念の一つとして「子ども・子育て支援給付その他の子ども・子育て支援の内容及び水準は、すべての子どもが健康やかに成長するように支援するものであって、良質かつ適切なものでなければならぬ」と定めています。この中で特に注目すべき点は「すべての」という部分にあります。保育を必要とするかどうかに関わらず、また、国籍・性別・障害の有無などを一切問わないものであるということはい

子ども・子育て支援法にも触れました。地方版子ども・子育て会議の発足にあたっては、この理念を構成全員で確認するところから始めてほしいと強く望みます。

そのうえで地域のすべての子どもたちのための政策を検討し、保育所や幼稚園、児童館といった施設のあり方については、あくまでもその中の一つの項目として捉えることにより、結果的に公立施設の位置付けについてもなにかの濃い議論ができるのではないのでしょうか。

みんなでつくる「公契約条例」

4月5日、自治労会館で、札幌市公契約条例の制定を求める会が主催する集会が開かれた。北海学園大学の川村准教授は、「官製ワーキングプア問題がある。発注者としての市の職員は何を感じてきたのか? 議会は現場労働者のための議論をしてきたのか? マスコミ

未来のために! 「反核燃の日」

「脱原発社会」をめざし、六ヶ所村再処理工場稼働阻止、東通原発の再稼働阻止、大間原発建設中止を求め、4月6日、青森市・青い森公園で

「4・9反核燃の日」全国集会が開かれ、全国から1236人が参加した。4月9日は、1985年のその日、青森県が核廃棄物を受け入れた日。

変わっていない。あらためて、みんなでつくる「公契約条例」という気持ちで今後も取り組むたい」と話した。

集会では、「核燃絶」日本に核はいらない」とアピールして青森市内をデモ行進した。また、全国交流集会では、原発稼働阻止にむけて取り組む弁護団の海渡弁護士が、「核燃料サイクルを止め、再稼働を止めよう」と題した講演や、「福島原発」ともんじゅ」の現状報告があった。

4月1日 執行体制が一部 変りました

4月1日、道本部執行体制が一部変りました。森下臨時執行委員が着任しました。高山書記が担当していた女性部と青年部を、岡さんが兼務します。高山書記は、自治労共済に異動しました。組合員のみなさん、よろしくお願いします。

■自治労関係対策臨時執行委員=森下元(八雲町職労) ■企画総務部



おーさかさんの徒然だより①

ご無沙汰しております。私は現在、浮かれています。今以上に格差が広がることを懸念しています。立憲主義を理解しない安倍総理の改憲論も、深刻な状況です。北海道を崩壊させ兼ねないTPP交渉参加、参院選勝利で大問題を阻止

大問題です。原子力推進姿勢も

これらを阻止するためには夏の参議院選挙で、必ず勝利を収めなければなりません。あいほらさん、小川さんの勝利にむけてともに頑張ります。 (4月10日、東京にて)

忙中余話

「安倍さんんな状況に置かれているのか、複雑な真実を見よう」という、嘘にだまされる国民。それよりも、ぞっとした。さらに続けて、「これで景気もよくなるしね」とコメントするこの国に将来性を感じないから、将来は国外に永住をしたい」とコメント。いずれも極端な考えです。まされないのが、今日の本ではないだろうか。 「アベノミクス」ではなく、「アベノリスク」ではないか。 (和田英浩)

許すな改憲! 憲法を私たちの手に! 憲法施行66周年 北海道集会

◇5月2日 18:00 ~ 20:00
◇自治労会館5F 「大ホール」
講演 「憲法とは何かを改めて考える」
講師 早稲田大学教授 水島朝穂さん